

令和3年度 保健、医療、福祉と連携した  
聴覚障害のある乳幼児に対する  
教育相談事業実施報告

岐阜県教育委員会 特別支援教育課

## ▶ 本日の内容

- 1 聴覚に関する関係機関と課題
- 2 令和3年度からの取組
- 3 取組の成果と今後の方向性



ミナモ

岐阜県公式キャラクター

## 岐阜県立岐阜聾学校

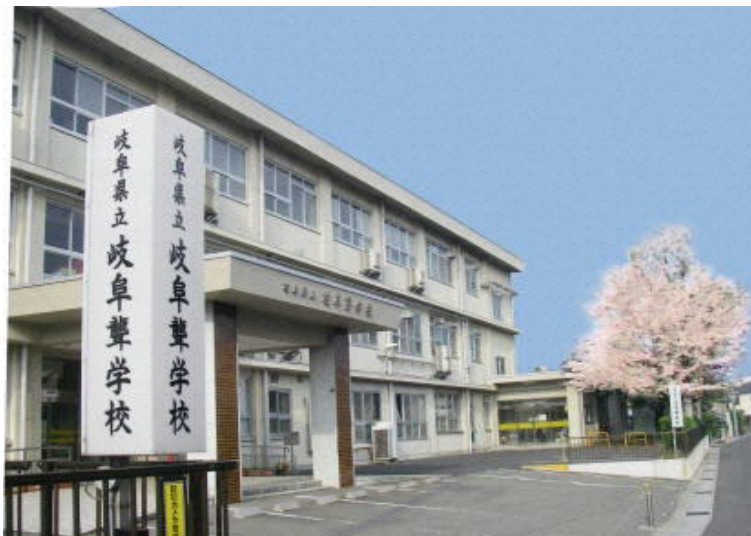
教育

住所：岐阜市加納西丸町1丁目74番地

幼児児童生徒数：幼7名、小30名、中16名、  
高11名 合計64名

（令和4年5月1日現在）

- ・ 岐阜県唯一の聴覚特別支援学校
- ・ 県内すべての地区から通学



## ▶ 難聴特別支援学級

教育

	学級数	児童生徒数
小学校及び 義務教育学校前期課程	7	22
中学校及び 義務教育学校後期課程	6	10
計	13	32

令和4年5月1日現在

# 岐阜市福祉型児童発達支援センターみやこ園

福祉

## 岐阜市福祉健康センター 3階



- ・ 0歳から就学前までの乳幼児のための療育を行う。
- ・ 難聴の診断・早期発見のための診療を行う。
- ・ 新生児聴覚スクリーニング検査精密検査を実施する。

## 岐阜県難聴児支援センター

保健・医療・福祉・教育

岐阜大学医学部本館 1階

令和3年11月開設



○難聴児が、住み慣れた地域で途切れなく支援を受けられる体制作り

○保護者に寄り添い、不安を和らげ、早期支援につなげていく相談機能の強化

・岐阜大学医学部附属病院が岐阜県の委託により運営

## 岐阜県内の聴覚に関する関係機関

飛騨地区

美濃地区

西濃地区

可茂地区

岐阜地区

東濃地区

- ・岐阜県立岐阜聾学校
- ・岐阜市福祉型児童発達支援センター  
みやこ園
- ・岐阜県難聴児支援センター

すべて岐阜市にある。

専門的な診療や療育、教育を受ける機会、保護者が身近に相談する機会が限られる。

## 岐阜県教育委員会

### 新子どもかがやきプラン アクションプラン2021

#### ○聴覚障がいのある児童生徒に対する支援を充実します。

- ・飛騨地域において、聴覚障がいのある幼児を対象とした幼児教室を開催し、早期からの聴覚障がい教育によりコミュニケーションの力の育成を図ります。
- ・岐阜聾学校をはじめ県立の高等学校や特別支援学校で学ぶ聴覚障がいにかかわる合理的配慮を必要とする児童生徒に対し、音声を文字情報に変換するソフトを活用した学習支援を行います。
- ・飛騨地域及び東濃地域において、聴覚障がいのある児童生徒の保護者等を対象とした相談会を実施します。また、専門家を派遣し、医療や療育とのつながりある支援の充実を図ります。



## 岐阜県教育委員会

### 新子どもかがやきプラン アクションプラン2021

○小学校、中学校、義務教育学校、高等学校における教員の専門性を高めます。

- ・飛騨地域及び東濃地域において、聴覚障がい支援に携わる小学校、中学校、義務教育学校、高等学校の教員を対象とした研修会や各小中学校への訪問を実施し、指導の充実に向けた実践的な助言を継続的に行います。
- ・岐阜聾学校を聴覚障がい教育担当教員の育成拠点として、特別支援学校及び小学校、中学校、義務教育学校との計画的な人事交流を行い、専門性のある教員を育成します。

## ▶ 主な取り組み内容

### (1) 「聴覚障がい早期支援事業」 「聴覚障がい児童生徒支援充実事業」

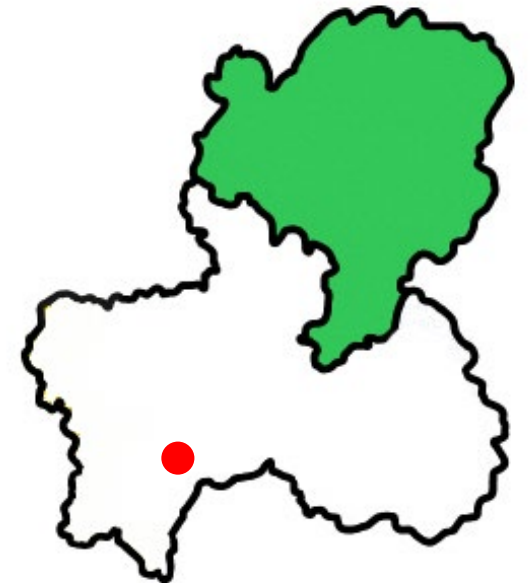
- ① 飛驒特別支援学校及び恵那特別支援学校に「センター的機能聴覚部門」を導入
- ② 飛驒特別支援学校に聴覚障がい支援専任教員を任命
  - ・ 乳幼児教室の開催
  - ・ 在籍園訪問

## ▶ ②聴覚障がい支援専任教員による乳幼児教室

### 飛驒特別支援学校

令和3年度：オンライン、集合型で年間11回実施

令和4年度：ハイブリッド型で年間20回実施予定



## ▶ 主な取り組み内容

### (1) 「聴覚障がい早期支援事業」 「聴覚障がい児童生徒支援充実事業」

③保護者向け学習会・相談会の実施

④教職員向け研修会の実施

⑤飛騨地区特別支援教育連携協議会「聴覚部会」の設置

## ③保護者向け学習会・相談会

令和4年度 聴覚障がい

児童生徒支援充実事業（東濃地区）

主催：恵那特別支援学校、東濃教育事務所  
岐阜県難聴児支援センター

### 第1回 保護者向け相談会のご案内

恵那特別支援学校と東濃教育事務所では、令和2年度から岐阜聾学校の支援のもと、きこえに不安があったり、難聴であるとの診断を受けたりした東濃地域の児童生徒への支援が充実するよう「聴覚障がい児童生徒支援充実事業」を立ち上げ、研修会等を実施しています。この度、保護者の方々を対象とした相談会を計画しましたので、ぜひご参加ください。

#### 日時

・令和4年9月29日（木）14時30分～16時30分

#### 場所

・恵那総合庁舎 南棟会議室（恵那市長島町正家後田1067-71）

#### 日程及び内容

- ・14:30～ 飛騨地域出身の聴覚障がいのある方の体験談（仮）
- ・15:00～ 座談会  
※聴覚に障がいのあるお子さんに関わる方々と、日頃の悩みなどについて交流したり、一緒に考えたりします。  
※きこえとことばに関する情報交換や情報提供をします。
- ・16:00～ 個別懇談（希望者のみ）  
※支援の内容など、個別に相談したいことについて、特別支援学校担当者、難聴児支援センター担当者、行政職員等と相談します。

#### 参加対象者

- ・東濃地域にお住まいのお子さんのきこえに不安のある保護者の方、難聴のお子さんをもつ保護者の方 及びその関係者の方 等
- ※小学校・中学校・高等学校に通うお子さんをもつ保護者の方に向けた内容としていますが、それ以前の年齢のお子さんの保護者の方もぜひ参加してください。



	飛騨地区	東濃地区
R3	3回	2回
R4	4回	2回

（参加した保護者）

「幼児教育」の重要性を改めて実感しました。定期的に集まる場・相談の場を設けていただけただけで、子供だけでなく親の心も救われますし、コミュニティ作りや情報交換など、多様に広がります。

## ④教職員向け研修会（飛騨、東濃）

<対象者> 聴覚障がいのある児童生徒が在籍する学校の教職員

<講師> 特別支援学校地域支援センター員 聴覚障がい専任教員 等

### 研修内容

第1回 聴覚障がいにかかわる講話

第2回 受講者勤務校における授業公開、懇談

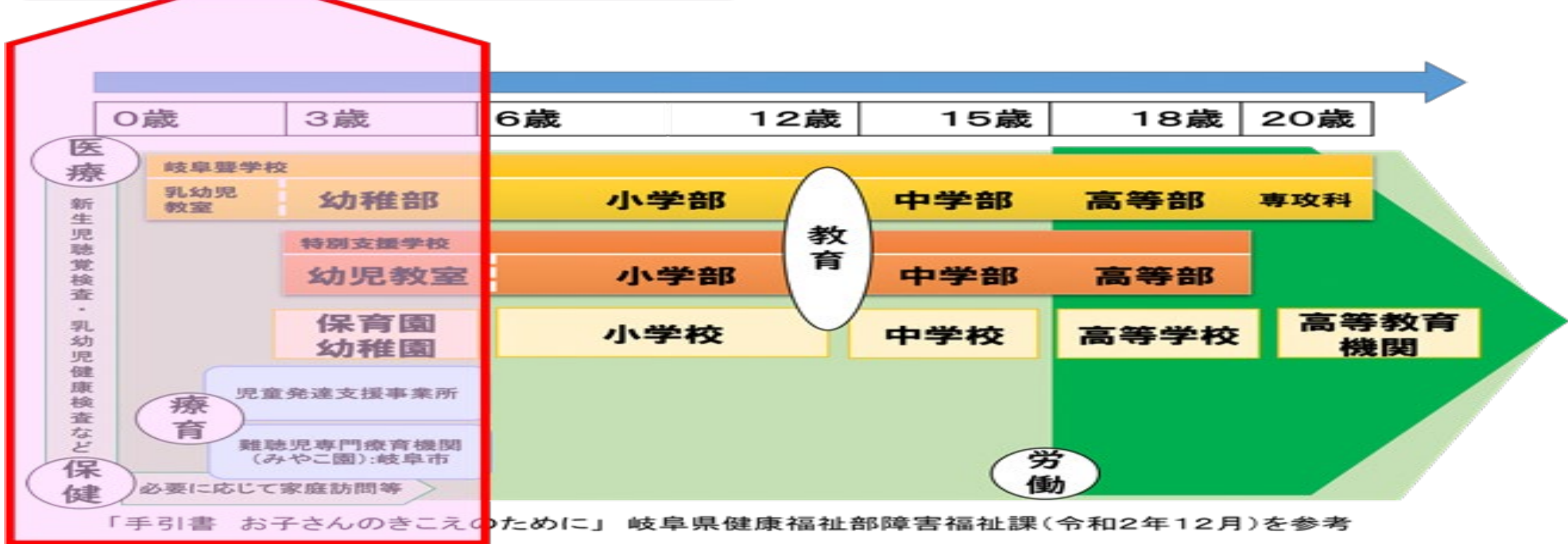
第3・4回 実践交流Ⅰ・Ⅱ

（学校訪問での指導から）

「ロジャーマイク」を使用してよかった経験、役立った経験の積み重ねによって、自ら支援を求められるようになる。「支援を与えられる」から「支援を求める」姿を目指したい。

# ⑤ 飛騨地区特別支援教育連携協議会 「聴覚部会」

飛騨地区における早期支援体制の構築



<参加者> 各市村福祉課及び教育委員会、保健所、県福祉課（飛騨地域担当）、岐阜県難聴児支援センター、保護者、飛騨教育事務所

## ▶ 主な取り組み内容

### （２）関係機関との連携

- ①岐阜県難聴児支援に関する検討会
- ②聴覚障がい支援担当者会議
- ③「難聴児支援センター」との連携
  - ・「難聴児支援センター」主催の連携会議における、各関係機関との情報共有（月１回）
  - ・各研修会、相談会の合同開催
  - ・各地域の巡回相談への同行



## 取組の成果と今後の方向性

### <岐阜聾学校>

- ・ 難聴児支援センターから聴覚障がいのある乳幼児の情報提供を受けて、学校訪問を実施したり、岐阜聾学校の学校見学への参加につなげたりすることができた。
- ・ これまで岐阜聾学校が訪問支援をしていた児童を、地元の特別支援学校が訪問支援できるよう、段階的に引継ぐことができている。
- ・ 専門的な支援の必要性を感じていない保護者の把握が難しい。

## 取組の成果と今後の方向性

### < 飛驒特別支援学校 >

- ・乳幼児教室の実施により、遠方にある専門機関へ通所・通園が難しい保護者に対して、療育の必要性を理解していただき、支援につなげることができた。

### < 恵那特別支援学校 >

- ・保護者向けの学習会・相談会に愛知県で療育を受けている幼児の保護者が参加された。地元の相談機関として、今後も学習会・相談会の継続的な実施を望む保護者の要望があった。

## 取組の成果と今後の方向性

### <岐阜県教育委員会>

- ・ 飛騨地区、東濃地区において早期からの聴覚障がい支援が広まりつつある。
- ・ 岐阜聾学校、飛騨特別支援学校、恵那特別支援学校における取組の成果を、今後全県に展開していく。
- ・ 東濃地区への早期支援事業（幼児教室の開催等）について、検討を開始する。

## 取組の成果と今後の方向性

### <岐阜県教育委員会>

「難聴の程度が軽度、一側性難聴、地域の学校への就学を希望等の理由で、支援に結びつきにくい児童生徒について」

- ・ 通常の学級に在籍する聴覚障がいのある児童生徒への支援について、教員向け学習会の案内など、適切な支援が行き届くよう働きかけを継続する。
- ・ 「難聴児支援センター」保健関係との連携、情報提供により、支援状況を把握する。